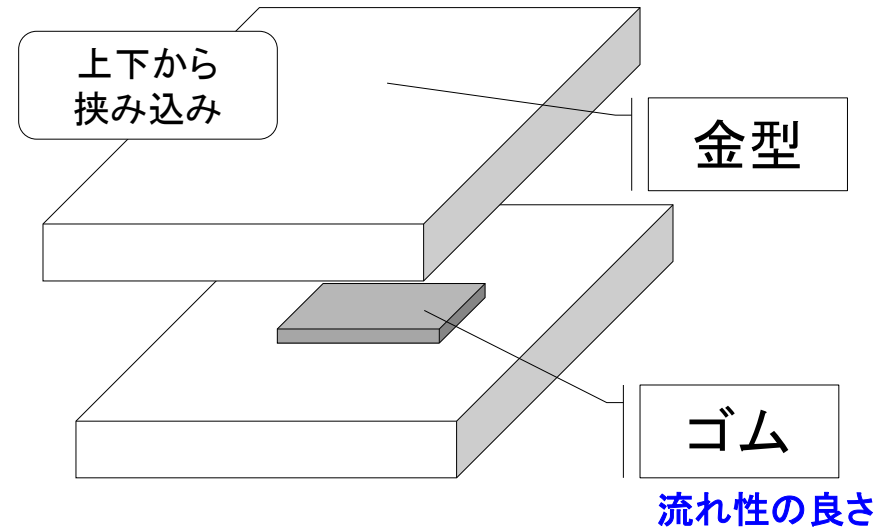
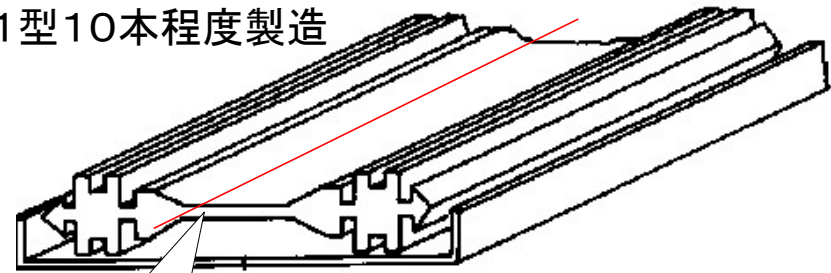


## 摩擦係数の考察

## 成型工程:コンプレッション成型



このタンデム形状で  
1型10本程度製造



<https://astamuse.com/ja/published/JP/No/1997025007>

その後カット

カット前に塩素煮沸、摩擦低減  
カット面は**摩擦大**

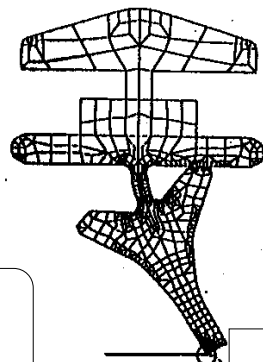


左右、同じものではない。

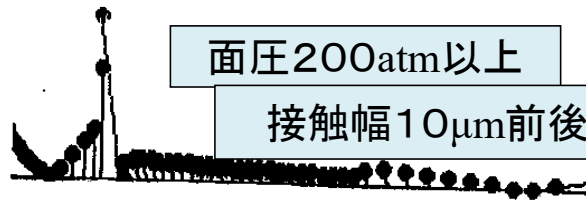
ワイパー  
接触面圧解析

カット面との  
摩擦区別化

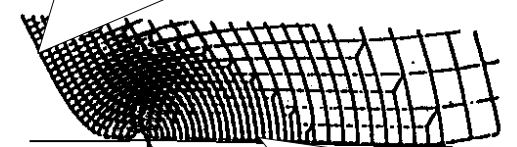
摩耗低減と  
反転性



ワイパー変形概要

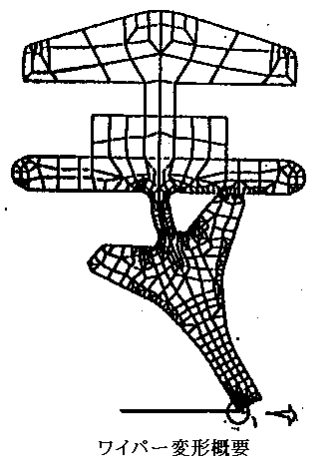


低面圧(塩素処理)側

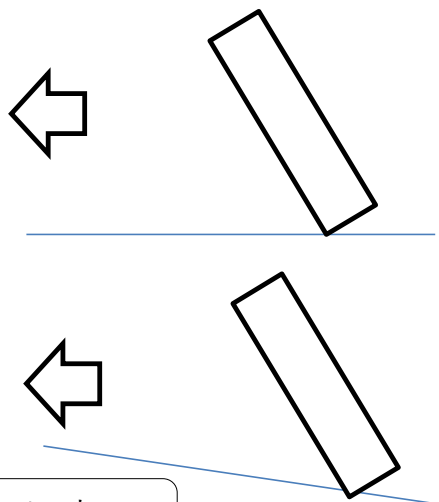


高面圧(未処理/カット)側

# 摩擦係数に関する考察



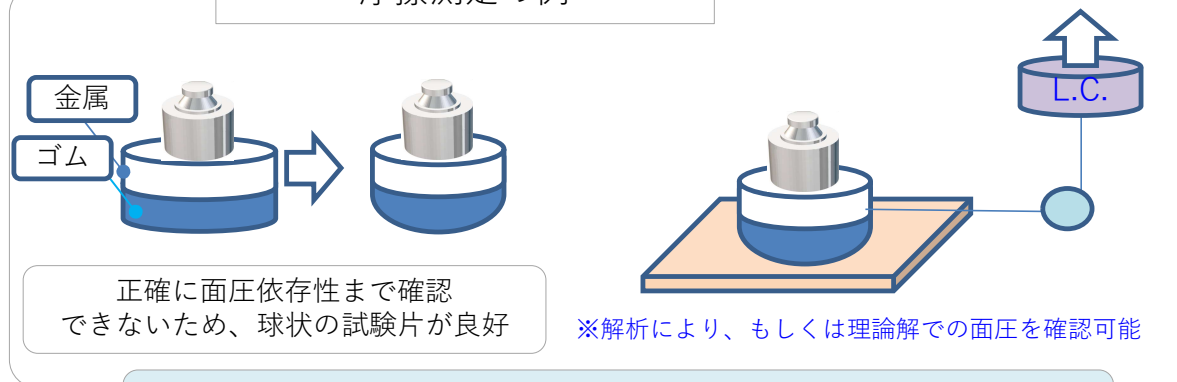
摩擦の勘違い



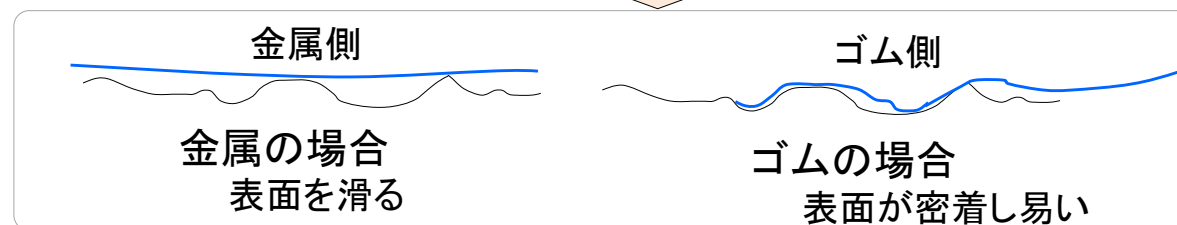
ミクロ的には落とし穴へ

ゴムの場合、この傾きが微小でも追従してしまい、金属が滑るところを密着する。

## 摩擦測定の実例

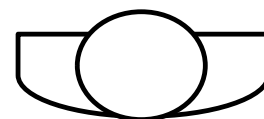


実験と解析により摩擦の面圧依存、関連してデータ蓄積可能

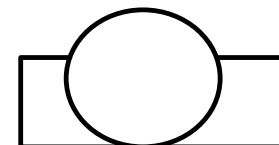


摩擦がないと転がり続けると言うが・・・

ボール（球）をカーブした器、平面でも同様に下図のような解析は、初期に安定しない。



曲面上のボール



平面上のボール

ミクロ的な摩擦とマクロ的な摩擦は、解析をする際にしっかり区別、2以上の摩擦係数も現実的にある。